

あいち農産物生産流通レポート

平成26年10月号

情報サロン		
・株枯病抵抗性台木を利用したイチジクの樹体ジョイント仕立て (農業総合試験場)		1
地域トピックス		
・東三河でヒートポンプの導入が着々と進む！ ～ 燃油価格高騰緊急対策の取組～ (東三河農林水産事務所)		2
東日本情報		
・東京都中央卸売市場における大玉トマトの動向 (東京事務所)		3
西日本情報		
・あいちのぶどうコンテストとぶどうフェアが開催されました (園芸農産課)		5
フラワーページ		
・長野県の輪菊栽培 (東京事務所)		7
青 果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)		9
・名古屋・東京市場における青果物の10月の見通し		10
花 き		
・切花・鉢花の10月の見通し(県内市場)		22
輸出入		
・主要農林水産物の輸出入実績(2014年7月)		26
関連指数		27

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6421

株枯病抵抗性台木を利用したイチジクの樹体ジョイント仕立て

農業総合試験場

1 イチジクの重要病害 イチジク株枯病

土壌伝染性のイチジク株枯病は防除が困難で、感染したイチジクは枯死するため問題となっています。イチジクは発根しやすく、従来、挿し木から養成した自根樹で栽培していますが、イチジク株枯病の対策として、病気にかかりにくい品種（イスキアブラック）を台木とした接ぎ木樹を利用した栽培も行われるようになってきました。

この株枯病抵抗性台木を利用した技術を効率的に導入するにあたり、改植による未収益期間が短縮でき、作業性に優れた栽培法が求められていました。そこで、農業総合試験場では、新たな仕立て法である樹体ジョイント仕立てに着目し、イチジクの接ぎ木樹による栽培と組み合わせた技術を開発しました。

2 樹体ジョイント仕立て

樹体ジョイント仕立ては、主枝を一方向に延長し、その先端を隣接する樹の主枝とつなげて直線状の集合樹にする新しい栽培法です。この仕立て法は、早期成園化や管理作業の省力・効率化に有効であることから、様々な樹種において、樹の特性に応じた栽培技術が開発されています。

3 イチジクでの仕立て方

イチジク株枯病対策として、苗木には、イスキアブラックを台木とした接ぎ木苗を育成します。台木部分は長い方が発病しにくいいため、長さ 40cm を目安とします。

苗木は斜めに植え付け、主枝を高さ約 40cm で一方向に水平誘引します。主枝の先端を隣接樹の主枝基部と連結することを繰り返し、複数の樹をつなげます。

苗木から主枝となる長い新梢を養成し、連結までの年数を短縮することで、早期成園化が可能となります。



図 イチジクの樹体ジョイント仕立て
(上：連結直後、下：収穫期)

4 技術の特徴

- (1) 苗木を斜めに植えるため、長い台木が利用でき、主枝高の抑制とイチジク株枯病対策に有効です。
- (2) 主枝を連結することで、基部と先端とで差がつきやすい結果枝の生育が均一化し、樹勢が安定しやすくなります。
- (3) 樹形は、主枝どうしが連結できれば完成です。主枝高を低く抑えて、結果枝を従来の一文字整枝と同様に主枝の両側に配置できるため、作業性に優れます。

このマニュアルは、農業総合試験場の Web ページ (<http://www.pref.aichi.jp/nososi/>) の農業の新技术からダウンロードできます。

(本研究は、農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業「樹体ジョイント仕立てを核とした省力、低コスト栽培技術の開発」で実施しました。)

東三河でヒートポンプの導入が着々と進む！ ～ 燃油価格高騰緊急対策の取組～

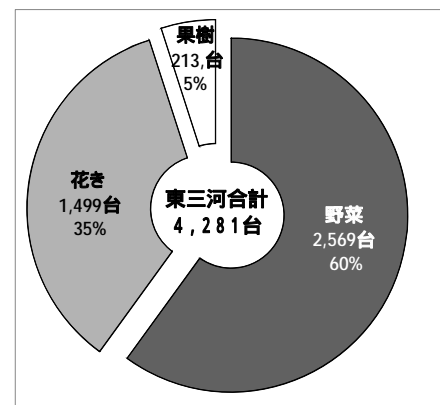
近年、燃油価格が高騰していることから、燃料費の割合が高い施設園芸の経営を圧迫し、全国有数の施設園芸産地である東三河地域の施設園芸農家にも大きな打撃を与えています。こうした中、東三河地域では、燃油高騰の影響を緩和するために創設された燃油価格高騰緊急対策を活用して、ヒートポンプなどの省エネ設備の導入が着々と進んでいます。

1 燃油価格高騰対策の取組状況

東三河地域では、この対策により平成25年度に2,428台のヒートポンプが導入されました。

また、26年度にはヒートポンプ1,853台が導入される見込みで、平成25年度と合わせた導入台数は4,281台にのぼります。

部門別では、野菜が全体の60%、花きが同35%を占め、品目別に見ると、トマトが1,448台と最も多く、次いでキクが1,006台となっています。



品目別ヒートポンプ導入状況
(H25, H26の合計)

2 ヒートポンプ導入の効果

ヒートポンプを導入した農家では燃油使用量は減少し、中には数百万円の経費節減に繋がったケースもありました。

また、適正加温ができたため、「品質・収量ともに向上して収入が増加した」、「開花時期が揃うようになったため収穫の作業効率が向上した」などの効果も見られています。



温室設置されたヒートポンプ(トマト)

3 これからの課題

現場では、ヒートポンプの使用方法によっては、期待したほどの省エネ効果が得られないケースもあり、今後、作物や栽培時期ごとのより効果的な使用方法の確立が課題となっています。

東三河地域では、ヒートポンプなど省エネ設備の導入意向を示す農家はまだまだ多く、今後もヒートポンプの設置台数は増加する見込みで、燃油価格緊急高騰対策の継続実施が望まれています。

東京都中央卸売市場における大玉トマトの動向

トマトは、サラダや煮込み料理、ソース、パスタ、ジュースなど多くの料理で利用されています。加熱することで甘みが増したり、栄養成分であるリコピンが油に溶けやすく熱にも強いといった特徴があります。また日本農業新聞が発表している「野菜の売れ筋ランキング」では毎年上位に入る人気野菜として注目されている一品です。そこで、今回は東京都中央卸売市場における大玉トマト（以下トマト）の、入荷状況を報告します。

1 愛知県産トマトの入荷状況

愛知県産トマトの東京都中央卸売市場における主な入荷時期は10月から翌年7月となっています（図1）。

そのうち、11月から6月までは占有率が10%を超えており、1月は16.9%を占めています。県別では、熊本県が29.2%、栃木県が18.1%、愛知県が12.7%（図2）となっており、前回報告したキャベツと違って多くの産地がトマトを生産しています。

東京都中央卸売市場におけるトマトの入荷量（H25.10～H26.7）は、68,876tで、過去5年平均、前年と比べるとそれぞれ7.5%、1.0%上回りました。月別入荷量を過去5年平均と比べると（図3）11月は下回ったものの、それ以外ではすべての月で上回っていました。単価については、前年と同様年内が高く、特に11月、12月は過去5年平均を大幅に上回り、その後は5月にわずかに上回りましたが、そのほかの月では下回っていました。この期間の1kgあたり平均単価は352円で、過去5年平均、前年と比べるとそれぞれ1.7%、5.6%下回りました。

11月に入荷量が減少し、高単価になった要因としては、気温の低下による着色遅れ、

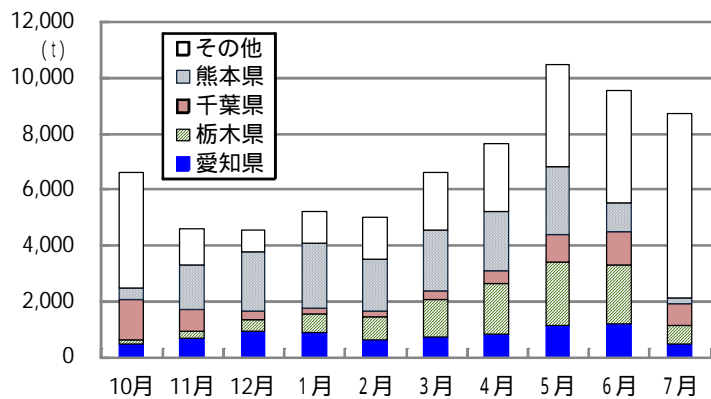


図1 トマトの月別入荷量 (H25.10～H26.7)

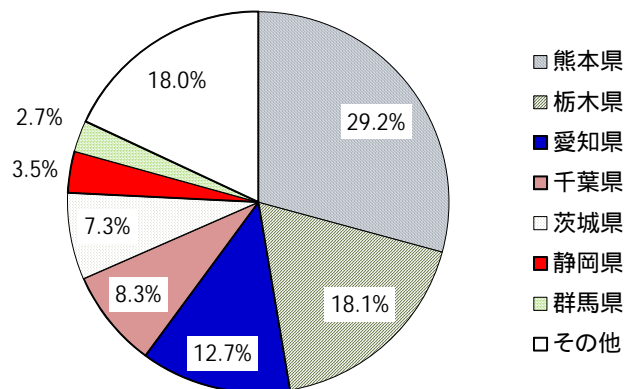


図2 トマトの都道府県別占有率 (H25.11～H26.6)

夏秋産地である青森、福島、群馬、北海道産などの作付が終盤を迎え、秋冬産地である熊本、栃木、愛知県産の入荷が増えてくるといった端境期にあたっている（表1）ことが考えられます。

平成25年の東京都中央卸売市場における上位10都道府県の入荷量と主な入荷時期を見ると（表1）入荷量の第1位は熊本県で、栃木、千葉、愛知と続いており、本県産と出荷時期も重なり、競合しています。

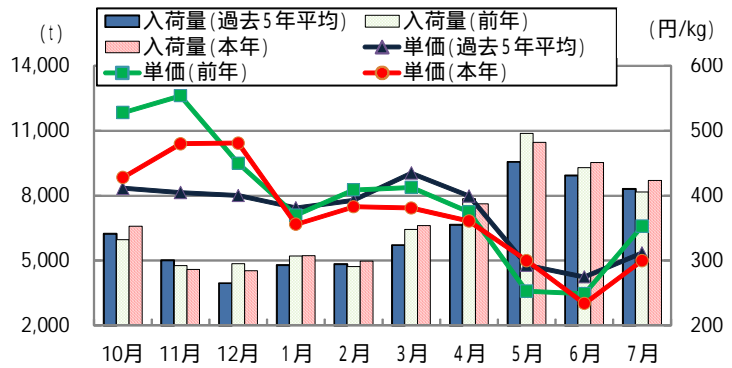


図3 トマトの月別入荷量と単価

表1 平成25年の東京都中央卸売市場におけるトマトの都道府県別入荷量と主な入荷時期

都道府県名	入荷量 (t)	占有率	主な入荷時期											
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
熊本	15,226	17.6%	■									■		
栃木	11,363	13.1%	■											■
千葉	8,873	10.2%		■										
愛知	7,806	9.0%	■									■		
青森	5,921	6.8%					■							
茨城	6,896	8.0%		■							■			
群馬	5,062	5.8%		■										
福島	4,763	5.5%					■							
北海道	4,416	5.1%					■							
静岡	2,187	2.5%	■									■		

2 大田市場に入荷されたトマトの荷姿について



荷姿 - 小箱（L5玉入）（写真左） コンテナ（中央） パック（右） -

大田市場に入荷（9月）されているトマトの荷姿は、4kg箱が主流ですがそれ以外にも左記写真のように、コンテナ出荷等もあります。量販店等からの需要に産地が対応しているものと考えられます。

あいちのぶどうコンテストとぶどうフェアが開催されました
園芸農産課

8月20日に、名古屋市のJ A あいちビルで、「あいちのぶどうコンテスト」と「あいちのぶどうフェア」が開催されました。これは、県産果実の消費拡大を図るため、愛知県、愛知県経済農業協同組合連合会及び愛知県果樹振興会が共催で実施している「あいちのフルーツフェア」の一環として行われたものです。

「あいちのフルーツフェア」は、愛知県産果実の消費拡大を図ると同時に、果物に込める生産者の思いと消費者の思いをつなげ、その魅力を伝えるための取組です。

1 あいちのぶどうコンテスト

「あいちのぶどうコンテスト」は、栽培技術の向上と消費拡大を目的に、県内各地のぶどうの品質を競うものです。当日は、本県主力品種の「巨峰」を始め、生産者自慢のぶどう116点が出品されました。

審査は、県内の農業団体等、果樹関係者7名により行われ、果実の外観、糖度、食味を総合的に判断し、特選12点、入選22点が選ばれました。その中で、最高賞の農林水産大臣賞には、豊橋市で生産された「巨峰」が選ばれました。

出品されたぶどうは、「巨峰」だけでなく、「シャインマスカット」や「ロザリオビアンコ」、「サニールージュ」など、数多くの品種が出品され、多様化する消費者のニーズに応えるため、様々な品種を導入する生産者の姿勢が反映されたコンテストとなりました。

2 あいちのぶどうフェア

「あいちのぶどうフェア」では、ぶどうの人気投票が行われました。このイベントは、コンテストに出品されたぶどうを、予め公募した県内消費者32名に実際に食べてもらい、最も気に入ったものに投票するというものです。

予選と決勝の計2回の投票により、人気No.1となったのは、春日井市で生産された緑系のぶどう「シャインマスカット」でした。

投票数が上位のぶどうは、緑、赤、黒と色は様々でしたが、共通するのは、大粒で種がなく、糖度が高い点でした。

人気投票に参加した消費者は、目の前に並んだ色とりどりのぶどうに目を輝かせ、思い思いの果実を頬張るたびに歓声をあげていました。「どのぶどうも美味しい!」「これからぶどうを買うときの参考にしたい。」などの感想が聞かれ、愛知県のぶどうの魅力を消費者に伝える良い機会となりました。

3 今後の展開方向

「あいちのフルーツフェア」は、これまで別々に開催してきた果実品評会や関係団体の取組をひとつにまとめ、相互に連携することで、効果的に県産果実の消費拡大を図ることを目指しています。本年度は9月に「いちじくコンテスト」と「いちじくフェア」を開催し、3月にかんきつ類での開催も予定しております。愛知の果物が消費者にとって、より身近で魅力的なものとなるように、これからも取り組んでまいります。



ぶどうコンテスト審査風景



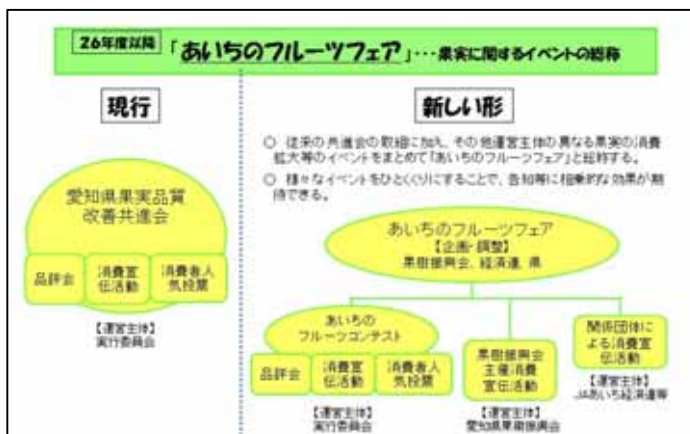
農林水産大臣賞を受賞した豊橋市産「巨峰」



ぶどうの人気投票風景



人気投票 1位の春日井市産「シャインマスカット」



あいちのフルーツフェア構成図

長野県の輪菊栽培

長野県は、夏秋の花き産地としてカーネーションやトルコギキョウ、輪ギクなど多くの花きを生産しています。その中で、夏秋の輪ギクの産地を視察する機会がありましたのでレポートします。今回は、ＪＡ信州諏訪とＪＡ佐久浅間の産地を訪れました。

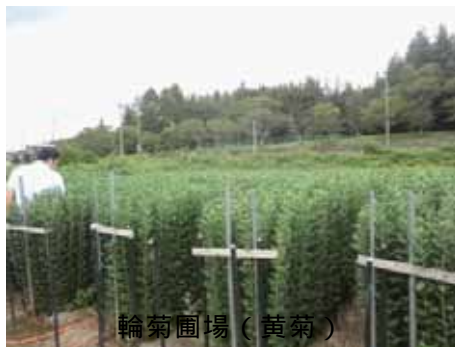
ＪＡ信州諏訪

本ＪＡは諏訪市をはじめ八ヶ岳山麓の６市町村を管内としており、古くからのキク産地として成り立ってきました。栽培地域の標高は800～1,150mで冷涼な気候となっています。栽培時期は6月下旬から10月中旬で露地7割、施設3割で色ギクを中心に栽培しています。色構成は黄50%、白24%、赤26%で東京、大阪、名古屋など8社に出荷しています。平成25年度の共選出荷量は72,000ケースで約100人の生産者が栽培しています。近年は高齢化により生産者が減少しており、ここ20年で生産者は3分の1以下になったとのことでした。

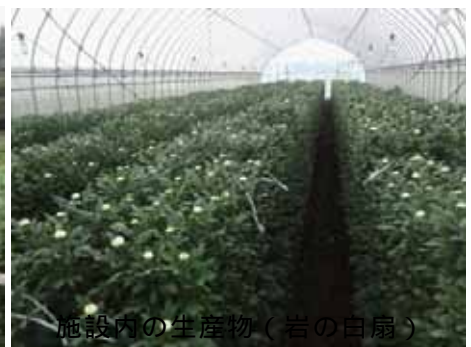
最近の取組としては、就農支援対策として里親制度をつくり、新規就農者を募集しているとのこと、毎年約150人ほどの応募からふるいをかけて1～2名が新規就農しています。そのため、50歳以下の生産者が増えてきて現在17名となっています。平成26年2月の大雪で多くのハウスが倒壊しましたが、（施設の再建はこれからだが）幸いにも、ハウス倒壊を理由に離農する農家はいなかったため、ＪＡの担当者は胸をなで下ろしていました。本作については、前進気味できていたが、8月下旬からの低温により遅れているようです。

ＪＡ佐久浅間

本ＪＡは佐久市をはじめとして3市4町を管轄としており、キク、カーネーションを中心に年間約10億円の花き生産高を誇ります。内訳はキ



輪菊圃場（黄菊）



施設内の生産物（岩の白菊）

ク4.3億円、カーネ4.6億円。他にトルコギキョウ、アルストロメリア、クジャクソウ等があります。花きの生産者は320人でうちキクは150人、カーネーション70人です。キクは、黄色を中心とした色ギク主体で、ほとんどが露地

栽培でした。こちらも東京、大阪、名古屋を中心とした十数社に出荷しています。特に、アジャストマムに積極的に取り組んでおり、専用の出荷箱で関西市場に出荷していました。

また、本JAでは平成17年度の強い農業づくり交付金による事業でキクとカーネーションの集出荷貯蔵施設を整備して、予冷や選別などの集出荷機能が強化されました。

いずれの産地も露地栽培を中心とした色ギク主体の産地ですが、冷涼な気候を生かして高品質で特徴ある栽培が行われていました。



アジャストマム（黄菊）

愛知産青果物の動向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

名古屋市中央卸売市場（品目：次郎柿）

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産	うち愛知産	
25年実績	558	256 (46%)	252	三重 (53%)
26年見通し	600	-	230	-
入荷量及び卸売価格の概要と見通し		卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>愛知の豊橋を中心に、三重などから入荷する。施設ものは重油高の影響もあり、年々減少している。露地ものは10月中旬以降から出てくる。サイズはL、2Lが中心となり、Mが続く。今後の台風や害虫被害が心配される。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>		<p>県内では次郎柿は人気があるが、岐阜の富有柿の知名度には及ばない。学校給食などを通し、子どもの頃から柿を食べる習慣を身につけるなど、公の力を注いで地産地消の運動をしていくことも良いのではないかと。消費者任せではなかなか消費拡大は難しく、他の販路を見つけ消費拡大を期待したい。</p>		

東京都中央卸売市場（品目：次郎柿）

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産	うち愛知産	
25年実績	381	360 (94%)	311	静岡 17t (4.5%) 岐阜 1t (0.3%)
26年見通し	450	-	250	-
概 要 と 見 通 し		卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>愛知中心に静岡などから入荷する。少なかった前年を大きく上回り豊作となりそう。台風等の影響はないが、一部でカメムシの被害がみられる。上位等級の割合は例年並みの見込み。玉肥大は順調にすすんでおり、階級はL、2L中心でやや大玉傾向。夜温も下がり着色も次第にすすみ出荷開始は10月中旬の見込みとなる。出荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年を大幅に下回る見込みである。</p>		<p>「りんご」「みかん」「なし」など競合する果実が豊富な時期にあたる。果実全体の販売環境が厳しい中で、いかに安定した品質の「柿」を消費者に提供できるのかが重要となる。このため、選果選別を徹底し、予約販売に向け産地の出荷動向などの確な情報が求められる。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の10月の見通し

名古屋市中央卸売市場

9月13日 現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜	21年	41,407	165	158	169	169	北海道 40%
	22年	34,154	233	216	223	261	長野 19%
	23年	36,104	212	250	222	174	群馬 10%
	24年	38,044	176	177	175	168	茨城 6%
	25年	36,432	202	207	193	206	
計	5カ年平均	37,228	198	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	36,400	202	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道、長野を中心に入荷する。産地により大雨及び日照不足により、生育状況はあまり良くない。土物は全体的に小玉傾向。入荷量も多くなく、昨年に引き続き単価は高めに推移すると思われる。 入荷量、価格ともに前年並みの見込み。</p>							
だい	21年	3,416	55	55	52	59	北海道 39%
	22年	2,323	103	130	84	99	青森 32%
	23年	2,707	117	185	105	81	新潟 11%
	24年	2,631	80	95	73	79	愛知 7%
	25年	2,275	114	121	95	124	
こ	5カ年平均	2,670	91	114	80	85	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	2,200	117	120	110	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道及び青森中心の入荷となる。長雨の影響により生育が非常に悪く、出荷量は不安定となる。今後の天候次第では、下旬ぐらいから持ち直すことも考えられるが、中旬までは昨年同様の高単価になりそう。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>							
に	21年	3,020	108	105	119	102	北海道 95%
	22年	2,314	154	160	155	147	青森 4%
	23年	2,753	133	161	161	102	中国 1%
	24年	2,972	92	115	103	72	愛知 0%
	25年	2,643	127	136	125	123	
じ	5カ年平均	2,740	121	134	131	107	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	2,700	120	120	120	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道、次いで青森からの入荷となる。雨等の影響は限定的であり、にんじんについては、大きな影響は出ていない。生育も目立ったほど悪くはないと思われる。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

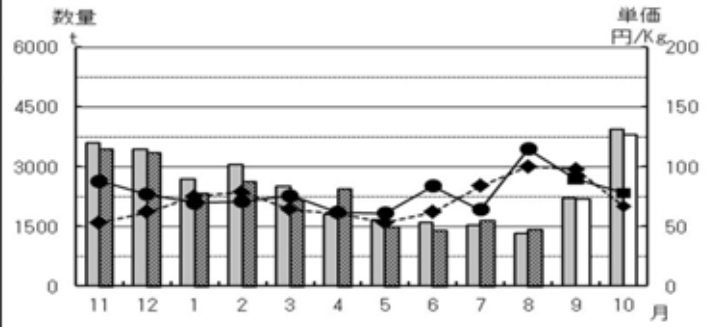
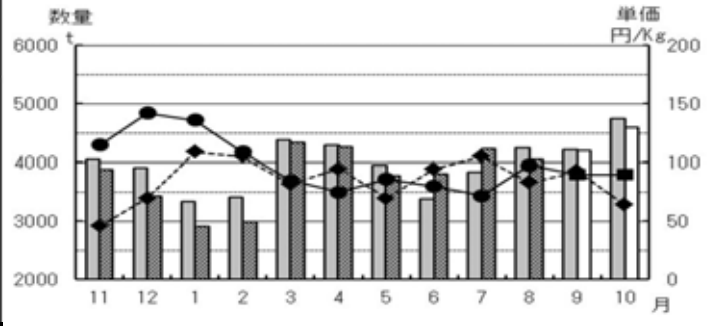
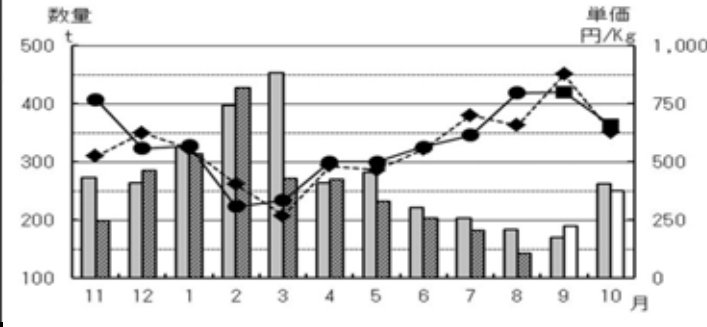
9月24日 現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬	(愛知産比率)	
野菜	21年	146,454	177	168	179	184	北海道 28%
	22年	130,018	245	283	226	230	茨城 13%
	23年	136,379	223	268	227	183	長野 13%
	24年	145,020	196	198	194	196	群馬 10%
	25年	141,453	220	225	206	226	(愛知産比率 1%)
	5カ年平均	139,865	211	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
26年見通し		138,500	225	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>馬鈴薯、にんじん等は北海道からの入荷が中心で生育良好。葉茎菜類、果菜類は、台風11号の上陸や日照不足、気温低下等で地域によって生育はまちまち。今後関東産地からの入荷が本格化してくる。</p> <p>入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>							
だいこん	21年	14,596	52	57	47	52	北海道 36%
	22年	12,341	102	124	81	100	青森 34%
	23年	13,391	102	161	91	69	千葉 17%
	24年	13,411	73	83	65	70	岩手 5%
	25年	13,910	105	112	86	112	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	13,530	86	106	73	80	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
26年見通し		14,000	100	105	105	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道、青森、千葉からの入荷が中心となる。北海道は気温低下が早くL品率が高い模様。青森は9月中下旬から、千葉は10月中旬から入荷が増える見込み。生育は各産地良好。</p> <p>入荷量は多かった前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。</p>							
にんじん	21年	8,410	117	115	120	115	北海道 92%
	22年	8,110	150	158	152	142	青森 5%
	23年	8,065	140	155	152	114	中国 2%
	24年	8,767	101	118	99	88	(愛知産比率 -%)
	25年	8,738	126	131	121	126	
	5カ年平均	8,418	126	135	128	117	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
26年見通し		8,700	120	125	115	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道からの入荷が中心となる。北海道は6月の降雨で播種ができなかった地域があり、10月中旬までは出荷量が減少の見込み。それ以降は生育良好なため順調な入荷が期待できる。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。</p>							

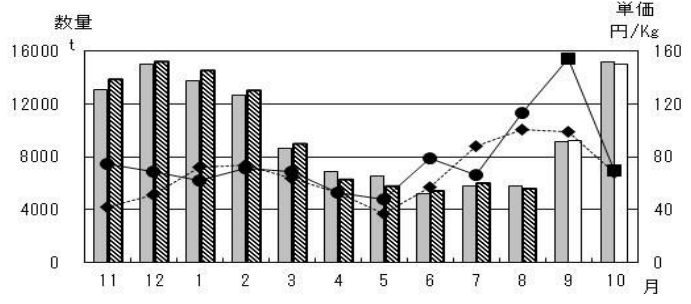
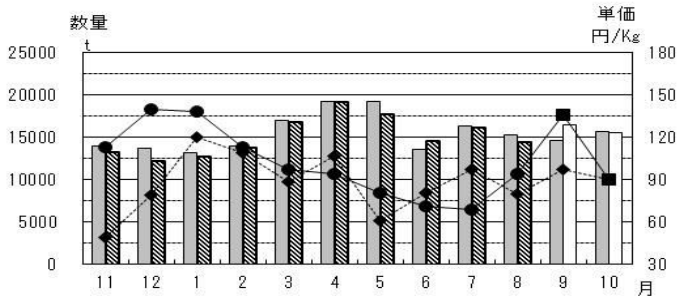
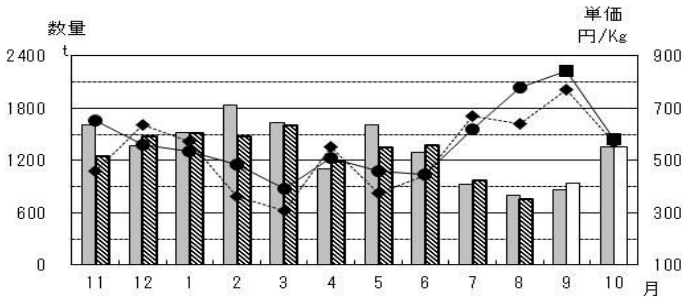
名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	21年	3,960	55	59	48	58	長野 86% 茨城 6% 北海道 5%
	22年	3,589	86	109	72	79	
	23年	3,704	99	188	119	56	
	24年	3,862	51	49	46	66	
	25年	4,042	67	76	51	81	
	5ヵ年平均 26年平均見通し	3,831 3,800	71 78	95 85	66 70	68 80	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			 <p>数量 t / 単価 円/kg</p> <p>長野中心の入荷となる。作付面積の減少とともに、長雨の影響で全体的にあまり多くの出荷は見込めない。単価も高単価となり、天候次第では今後も続くおそれが懸念される。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>				
キャベツ	21年	4,584	63	70	60	59	群馬 49% 長野 18% 茨城 16%
	22年	3,752	106	110	95	115	
	23年	4,721	89	111	89	77	
	24年	5,097	48	49	47	52	
	25年	4,751	64	84	91	111	
	5ヵ年平均 26年平均見通し	4,581 4,600	72 90	83 100	75 90	81 80	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			 <p>数量 t / 単価 円/kg</p> <p>群馬を中心に、長野、茨城から入荷。群馬はまだ玉が大きくなってきていないが、生育は良好。今後、大玉も順調に入荷すると思われる。 入荷量は多かった前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>				
ほうれんそう	21年	308	578	546	743	504	岐阜 61% 愛知 26% 群馬 5% 長野 4%
	22年	334	564	842	544	427	
	23年	302	626	965	675	452	
	24年	282	648	766	611	588	
	25年	263	630	700	555	656	
	5ヵ年平均 26年平均見通し	298 250	607 660	766 700	626 630	519 650	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			 <p>数量 t / 単価 円/kg</p> <p>岐阜(高山)中心の入荷で、中下旬になると愛知が徐々に増えてくる。高山産の生育は順調でL玉中心となりそうだが、天候の影響を受けやすいため、やや不安定な状況である。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>				

東京都中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	21年	13,101	44	51	41	42	長野 74%
	22年	13,881	85	113	69	74	茨城 13%
	23年	12,903	99	177	108	48	北海道 8%
	24年	14,201	50	50	46	55	群馬 3%
	25年	15,123	68	81	49	72	(愛知産比率 -%)
	5ヵ年平均 と前年見通し	13,842	69	93	62	59	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			 <p>長野、茨城、北海道からの入荷が中心となる。長野は天候不順で日照時間が短く小玉傾向。茨城は生育良好で例年通り10月中旬からの入荷を見込む。北海道も生育良好。</p> <p>入荷量は多かった前年並を見込み、価格は前年をやや上回る見込み。</p>				
キャベツ	21年	17,355	57	68	53	51	群馬 57%
	22年	14,373	106	117	93	109	千葉 13%
	23年	15,747	88	109	87	71	岩手 11%
	24年	16,505	42	45	37	45	茨城 8%
	25年	15,649	90	84	83	103	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均 と前年見通し	15,926	75	83	70	74	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			 <p>群馬、千葉、岩手、茨城からの入荷が中心となる。群馬は前倒し出荷で、小玉傾向。千葉は生育良好で10月中旬からの入荷を見込む。岩手は終盤を迎える。茨城の生育は概ね良好。</p> <p>入荷量は前年並を見込み、価格も前年並だが平均を大幅に上回る見込み。</p>				
ほうれんそう	21年	1,597	478	391	647	447	群馬 41%
	22年	1,590	535	751	475	464	茨城 16%
	23年	1,367	546	845	532	404	栃木 14%
	24年	1,433	589	711	608	492	千葉 7%
	25年	1,360	567	579	504	610	(愛知産比率 -%)
	5ヵ年平均 と前年見通し	1,469	541	651	554	482	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			 <p>群馬、茨城、栃木など関東産地中心の入荷となる。群馬はハウス倒壊分を露地で補っているが作付減。茨城、千葉は生育良好。栃木は低温の影響で入荷量が停滞している模様。</p> <p>入荷量は少なかった前年並で、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>				

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	21年	1,428	326	351	306	北海道 38%	
	22年	1,227	411	517	374	長野 16%	
	23年	1,334	299	404	290	愛知 8%	
	24年	1,272	337	379	319	富山 8%	
	25年	1,160	336	321	358		
5ヵ年平均	1,284	341	388	334	330	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
26年見通し	1,250	330	350	330	310		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道、長野からの入荷となる。両県とも順調な出荷となる。愛知は夏ねぎと秋冬ねぎの狭間で、一時的に入荷が減少する。これから需要増となるので、安定的な入荷を期待したい。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年並みの見込み。</p>							
レタ	21年	1,936	88	74	90	100	長野 56%
	22年	1,446	249	405	206	187	茨城 38%
	23年	1,751	170	240	179	124	兵庫 3%
	24年	1,806	143	128	164	157	群馬 2%
	25年	1,803	181	175	175	207	
5ヵ年平均	1,748	162	194	160	153	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
26年見通し	1,600	200	250	200	150		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>長野は、産地が高冷地から準高冷地へと移り変わる。長雨の影響により生育不良となり、出荷量が減少し、高単価となる見込み。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>							
きゅう	21年	1,412	248	200	294	260	群馬 36%
	22年	1,291	335	380	254	395	長野 18%
	23年	2,316	221	166	233	276	山梨 17%
	24年	1,179	295	278	285	332	宮崎 9%
	25年	1,005	355	304	265	522	
5ヵ年平均	1,440	278	249	262	338	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
26年見通し	1,000	370	350	350	400		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>群馬を中心に長野、山梨から入荷する。夏秋ものの切り上げが早く、抑制ものに代わる。抑制ものの産地である群馬、埼玉の生育状況は良くなく、低かった前年並みとなりそう。 入荷量は前年並みで、価格は前年をやや上回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ね	21年	5,545	255	275	267	229	青森 25%
	22年	5,272	340	428	289	309	北海道 16%
	23年	5,879	202	259	196	164	秋田 15%
	24年	5,762	291	342	275	263	山形 10%
	25年	6,008	260	251	243	282	(愛知産比率 -%)
ぎ	5ヵ年平均	5,693	268	309	253	248	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	6,000	250	250	250		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>青森、北海道、秋田、山形からの入荷が中心となる。青森は8月の降雨で土寄せ作業が滞り下位等級品率が高いが、他の産地は生育良好。9月の稲刈りで一時入荷は少なくなるがその後回復してくる見込み。</p> <p>入荷量は順調だった前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。</p>							
レ タ ス	21年	9,670	75	62	82	85	茨城 62%
	22年	7,877	236	391	189	167	長野 24%
	23年	8,686	163	221	169	113	栃木 6%
	24年	9,743	122	102	134	126	群馬 5%
	25年	8,740	169	162	161	183	(愛知産比率 0%)
ス	5ヵ年平均	8,943	149	179	145	133	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	9,000	160	200	150	130	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>茨城、長野からの入荷が中心となる。茨城は生育良好で10月中旬から入荷のピークを迎える。長野は8月からの曇雨天や9月の低温で入荷量が停滞気味、10月下旬で入荷終了の見込み。</p> <p>入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							
き ゆ う り	21年	6,349	216	159	265	233	埼玉 27%
	22年	5,498	315	340	243	392	群馬 24%
	23年	6,196	296	351	266	283	茨城 12%
	24年	6,213	273	238	281	312	福島 12%
	25年	5,810	330	276	260	480	(愛知産比率 -%)
り	5ヵ年平均	6,013	284	271	264	336	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	5,500	330	350	340	300	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>埼玉、群馬など関東産地中心の入荷となる。各産地とも日照不足と気温低下の影響で生育遅れがみられる。埼玉、群馬はハウス再建の遅れで作付け減。埼玉、群馬、茨城は入荷のピークを迎える。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並の見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量		卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
				上旬	中旬	下旬		
な	21年	675	253	150	314	366	愛知	32%
	22年	851	248	307	220	223	熊本	22%
	23年	666	336	506	338	259	徳島	16%
	24年	723	260	258	250	285	山梨	13%
	25年	595	304	297	264	390		
す	5カ年平均	702	278	303	274	298	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	26年見通し	600	330	300	350	350		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
<p>愛知、熊本、徳島、山梨からの入荷が中心となる。夏秋ものから秋冬ものへの切り替え時期である。夏秋ものは、夏の暑さによる成り疲れが目立つ。秋冬ものはやや前進しており、前年並みの出荷となりそう。入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>								
ト マ ト	21年	1,363	272	245	276	301	岐阜	31%
	22年	917	494	635	458	421	愛知	17%
	23年	941	484	723	580	321	茨城	11%
	24年	959	537	473	571	607	北海道	11%
	25年	1,086	453	601	377	420		
ト	5カ年平均	1,053	434	513	437	406	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	26年見通し	960	430	500	430	380		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
<p>岐阜、愛知中心の入荷となる。日照不足による着花不良により、生産量は大幅に減少するであろう。また、玉も大きくないため、高単価とまではいかないであろう。入荷量は前年よりかなり下回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>								
ト ウ モ ロ こ し	21年	334	520	527	544	494	北海道	41%
	22年	235	1,025	1,237	1,159	693	愛知	40%
	23年	284	912	1,051	1,031	720	茨城	10%
	24年	301	937	851	949	1,046		
	25年	376	875	985	941	758		
ト マ ト	5カ年平均	306	840	910	906	740	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	26年見通し	300	832	850	850	800		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
<p>北海道、愛知中心の入荷となる。昨年は生育順調で入荷量は多かったが、本年は平年並みの入荷となりそう。入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>								

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	21年	3,435	221	173	307	313	高知 35%
	22年	3,907	245	308	222	211	栃木 19%
	23年	3,366	334	486	314	262	茨城 14%
	24年	3,917	262	278	225	278	群馬 14%
	25年	3,065	331	292	266	474	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均 26年平均見通し	3,538 3,100	276 330	306 310	264 310	301 370	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			<p>関東産地に加え、西南暖地からの入荷が始まる。高知は日照不足の影響で生育は遅れ気味。関東産は終盤を迎え、気温低下により果実肥大が停滞している。入荷量の回復は今後の天候次第。 入荷量は少なかった前年並で、価格は高かった前年並の見込み。</p>				
ト マ ト	21年	7,681	266	239	269	294	千葉 22%
	22年	5,376	475	591	420	428	茨城 16%
	23年	5,868	467	680	502	319	福島 12%
	24年	5,968	528	442	576	596	青森 11%
	25年	6,585	428	532	338	429	(愛知産比率 6%)
	5ヵ年平均 26年平均見通し	6,296 6,300	423 440	481 430	411 450	407 440	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			<p>東北産地は終盤を迎え、関東産地からの入荷が中心となる。各産地とも気温低下の影響で着色が進んでいない。作付面積は茨城がやや減で他は前年並。千葉の生育は概ね良好。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>				
ミ ニ ト マ ト	21年	1,570	466	486	478	441	茨城 22%
	22年	1,045	923	1,154	1,010	658	千葉 18%
	23年	1,203	863	938	1,040	649	愛知 14%
	24年	1,320	885	774	891	1,013	北海道 13%
	25年	1,748	765	868	812	654	(愛知産比率 14%)
	5ヵ年平均 26年平均見通し	1,377 1,500	761 880	819 900	821 880	674 860	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			<p>茨城、千葉、愛知、北海道からの入荷が中心となる。茨城、千葉は生育良好。北海道は終盤を迎える。8月の天候不順と9月の気温低下の影響で入荷量は少ない見込み。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年よりかなり上回る。</p>				

名古屋中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	21年	541	229	139	224	368	茨城 32%
	22年	461	415	508	382	377	岩手 22%
	23年	445	380	392	475	339	北海道 18%
	24年	447	233	248	255	297	
	25年	435	386	453	398	388	
マ	5カ年平均	466	325	340	342	354	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	410	350	350	350	350	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>茨城、岩手、北海道を中心に入荷。天候の大きな影響は受けておらず、入荷量は平年並みの見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							
ばいしょ	21年	3,292	97	105	111	83	北海道 99%
	22年	2,729	142	159	154	117	愛知 0%
	23年	2,709	109	125	117	94	岐阜 0%
	24年	2,610	75	78	80	74	
	25年	2,962	95	114	95	89	
い	5カ年平均	2,860	103	116	111	91	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	3,000	100	100	100	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道からの入荷が中心となる。生育順調で、L玉中心の入荷となる。9月の収穫次第であるが、数量は前年並みであろう。 入荷量は前年並みで、価格は前年をやや上回る見込み。</p>							
たまねぎ	21年	6,108	80	82	82	78	北海道 97%
	22年	4,503	119	118	125	113	中国 2%
	23年	4,226	93	106	105	83	アメリカ 1%
	24年	5,578	70	77	75	70	兵庫 0%
	25年	4,866	97	102	102	104	
ね	5カ年平均	5,056	90	95	96	88	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	5,600	85	90	85	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道からの入荷が中心。L玉中心で、生育順調。入荷も安定し10月に向かって出荷のピークを迎える。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピ	21年	2,151	220	121	222	337	茨城 63%
	22年	1,705	406	489	386	346	岩手 19%
	23年	1,804	327	363	402	240	福島 7%
	24年	2,101	202	172	197	241	青森 4%
	25年	1,939	356	364	377	331	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	1,940	302	302	317	299	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
26年見通し	1,900	300	310	280	320		
マン	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>茨城を中心に岩手、福島等から入荷する。茨城は9月中旬まで少なめだったが、その後増量して入荷量は回復した。東北産地は気温の低下で切り上がり及早まる見込み。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>						
ばれい	21年	7,620	121	118	120	123	北海道 100%
	22年	7,248	156	158	157	152	(愛知産比率 - %)
	23年	7,192	122	123	124	120	
	24年	8,842	86	85	88	86	
	25年	8,747	109	119	107	101	
	5カ年平均	7,930	119	121	119	116	
26年見通し	9,000	100	110	100	95		
しょいよ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>北海道から入荷する。「男爵」、「きたあかり」、「メイクイン」が中心。6月～7月中旬の干ばつの影響で玉伸びが悪く小玉が多い。L中心で大玉は少ないが品質は良好。一部地域で9月の降雨の影響から皮のむけが多く発生している。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格はかなり下回る見込み。</p>						
たま	21年	9,959	100	101	100	79	北海道 91%
	22年	9,618	135	135	135	135	中国 5%
	23年	10,581	100	103	100	97	米国 3%
	24年	11,126	79	85	80	72	兵庫 1%
	25年	10,820	107	107	105	108	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	10,421	104	106	104	98	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
26年見通し	11,000	95	95	95	95		
ねぎ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>北海道から入荷する。北海道での地区により作柄の善し悪しがある中、主力産地においては玉伸びも良好で順調な出荷が見込まれる。 入荷量は前年並み、価格はかなり下回る見込み。</p>						

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実	21年	14,579	216	235	213	201	長野 17%
	22年	12,196	285	324	282	250	三重 17%
	23年	13,154	262	307	269	233	和歌山 14%
	24年	13,841	246	295	233	221	フィリピン 14%
	25年	12,253	274	305	260	257	
	5ヵ年平均 26年見通し	13,205 12,700	255 250	- -	- -	- -	- -
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>長野、三重、和歌山中心に入荷。今夏の天候不順に影響により、全体的に生育が「良くなく、入荷量も伸び悩むおそれがある。今後の天候回復に期待したい。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							
みかん	21年	4,450	167	193	160	156	三重 56%
	22年	3,228	221	261	228	188	熊本 19%
	23年	4,113	174	224	187	148	静岡 9%
	24年	3,599	161	189	147	166	和歌山 9%
	25年	3,680	200	215	199	194	
	5ヵ年平均 26年見通し	3,814 3,600	183 190	- 210	- 190	- 180	- -
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>三重を中心に、熊本、静岡から入荷。三重は遅れていた分が10月に出てくる。全体的に小玉傾向であるものの、今後の天候次第では、大玉も増えてくる。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>							
かき	21年	2,568	186	193	192	178	和歌山 69%
	22年	1,648	323	369	310	303	岐阜 11%
	23年	2,225	260	291	251	260	愛知 11%
	24年	2,334	223	290	216	195	奈良 5%
	25年	1,918	254	256	249	275	
	5ヵ年平均 26年見通し	2,139 2,200	243 220	- 250	- 230	- 200	- -
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>和歌山を中心に入荷する。全体的に前進傾向で、生育は順調。上中旬に出荷が集中すると思われる。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	21年	57,281	207	225	205	194	和歌山 11%
	22年	45,135	276	310	271	249	青森 10%
	23年	46,781	265	291	265	247	熊本 10%
	24年	52,113	234	262	225	219	長野 8%
	25年	45,020	270	285	268	259	(愛知産比率 1%)
	5カ年平均	49,266	248	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	45,000	270	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
みかん、かき、なし、りんご中心に入荷。りんごは「つがる」から「早生ふじ」「シナノスイート」中心の入荷となる。着色もよく良好なできばえ。なしは「新高」「南水」「にっこり」などが出回る。果物全体では入荷量、価格ともに前年並みの見込み。							
みかん	21年	18,947	149	184	142	132	熊本 29%
	22年	12,648	201	265	197	167	愛媛 23%
	23年	14,156	187	226	185	172	長崎 23%
	24年	15,304	162	181	147	166	佐賀 10%
	25年	14,356	192	204	190	186	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	15,082	176	209	169	163	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	13,500	180	230	180	170	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
熊本中心に長崎、佐賀、愛媛などから「極早生」中心に入荷する。着色、減酸、玉肥大ともに良好で例年より生育は進んでいる。上旬は小玉中心、中旬からはM中心の入荷を見込む。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年が高かったため前年をかなり下回る見込み。							
かき	21年	10,856	193	190	198	192	和歌山 46%
	22年	6,752	320	384	303	297	奈良 24%
	23年	9,117	263	292	253	253	新潟 8%
	24年	10,097	209	267	191	189	福岡 5%
	25年	8,196	253	235	243	279	(愛知産比率 7%)
	5カ年平均	9,004	241	265	232	235	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	8,800	260	300	240	240	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
和歌山中心に奈良、新潟、愛知、福岡等から入荷する。前半は「刀根早生」中旬からは「平核無」中心に入荷。他に「早秋」「太秋」なども出始める。各産地ともに作柄がよく肥大は良好。入荷量は前年をかなり上回り、価格は販売環境もよく前年をわずかに上回ると見込まれる。							

切花・鉢花の10月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 9月25日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	21年	2,185	51	
		22年	1,824	46	
		23年	1,802	61	
		24年	1,724	47	
		25年	1,566	53	
	5ヶ年平均		1,820	51	
	26年見通し		1,600	50	
概要	愛知、三重、長野中心に入荷。日照不足や早い冷え込みで遅れた分があり、上旬はやや重い展開も考えられるが中旬以降は高冷地産も終了し、量的にも落ち着く。秋冬期品種の出荷も始まり、品種や入荷によっては不安定な場面も出てくる。				
小 ぎ	実績	21年	1,270	23	
		22年	1,032	28	
		23年	964	20	
		24年	888	42	
		25年	951	29	
	5ヶ年平均		1,021	28	
	26年見通し		850	35	
概要	愛知、奈良、長野等から入荷。山間地産は切上がり、日照不足や低温傾向により地物の出荷もあまり多くない。色によってバラツキも大きく、物よる差が大きくなると思われる。				
カー ネ ー シ ョ ン	実績	21年	1,181	34	
		22年	1,152	40	
		23年	1,281	38	
		24年	1,188	68	
		25年	1,314	35	
	5ヶ年平均		1,223	43	
	26年見通し		1,200	40	
概要	長野、北海道、愛知を中心に入荷。高冷地産は2月の雪害の影響による品薄感が続く。9月が例年よりも低温のため、一時的にブレーキがかかっているが、追って暖地産の短い物中心ではあるが増加する。夜温が低いいため、品質的にはまずまずの物となる。				
か す み	実績	21年	123	93	
		22年	76	142	
		23年	61	175	
		24年	85	136	
		25年	110	112	
	5ヶ年平均		91	125	
	26年見通し		100	120	
概要	長野、北海道、福島、熊本から入荷。和歌山、高知も中旬くらいからスタートする。8、9月の気温が意外と低く、9月の出荷の遅れが10月出荷に。ここ数年数量の少ない月ではあったが、今年は前半は増加する可能性があり、価格は数量次第で波があろう。				

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆ り	実績	21年	344	160	
		22年	368	184	
		23年	411	172	
		24年	381	162	
		25年	412	144	
	5ヶ年平均		383	164	
	26年見通し		400	150	
概要	<p>オリエンタルは新潟、埼玉、四国中心の入荷。数量は昨年よりやや多い。LAは新潟、埼玉、高知からの入荷。埼玉出荷は少なく、入荷減。前記品目は安定販売になりそう。鉄砲百合は高知、鳥取、兵庫、愛媛など前半の数量はありそうで、価格はやや弱め、中旬以降は数量も落ち着き、価格も戻る。</p>				
洋 ら ん	実績	21年	426	68	
		22年	521	68	
		23年	608	65	
		24年	561	62	
		25年	1,103	68	
	5ヶ年平均		644	67	
	26年見通し		550	65	
概要	<p>愛知、静岡、鹿児島、輸入品が入荷。8,9月の遅れていた物が入荷し、増加すると思われる。シンピは国産が、カトレアも増加傾向。コチョウランは8,9月は例年になく高値で推移しているため、季節がら大きな変動なく堅調な動きとなろう。</p>				
ば ら	実績	21年	1,095	67	
		22年	1,109	72	
		23年	1,030	73	
		24年	1,049	77	
		25年	997	71	
	5ヶ年平均		1,056	72	
	26年見通し		1,000	70	
概要	<p>愛知、岐阜、三重、和歌山中心に入荷。今年は夏からの品質の回復が非常に早く、上位等級もしっかりと出荷される。新品種も出てくるため、期待の持てる販売となる。</p>				
枝 も の	実績	21年	1,458	43	
		22年	1,753	43	
		23年	1,892	28	
		24年	1,668	45	
		25年	1,588	46	
	5ヶ年平均		1,672	41	
	26年見通し		1,600	45	
概要	<p>ツル梅、野バラ、ツノナス等実物や紅葉物が中心に入荷。花展等あり、冷え込み次第で引合いは強くなりそう。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ドラゼナ	実績	21年	21,406	666	
		22年	23,553	699	
		23年	27,488	737	
		24年	25,564	792	
		25年	18,404	817	
	5ヶ年平均		23,283	741	
	26年見通し		18,000	800	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。昨年同様、ユッカ、マッサンを主体とした入荷の見込み。6号～7号が中心となる。 昨年10月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(71.6%)、2位鹿児島(16.3%)、3位沖縄(4.9%)となっている。</p>				
シャコバサボテン	実績	21年	81,947	344	
		22年	60,104	376	
		23年	61,253	448	
		24年	61,116	387	
		25年	56,852	378	
	5ヶ年平均		64,254	384	
	26年見通し		50,000	350	
概要	<p>入荷量は昨年より減少か。愛知の作付量の減少と関東の大雪の被害による影響が大きい。また、小鉢化(3.5号～4号)傾向にあるので、価格面では昨年を下回る見込み。 昨年10月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(65.6%)、2位埼玉(28.1%)、3位茨城(5.7%)となっている。</p>				
シクラメン	実績	21年	638,715	180	
		22年	504,016	184	
		23年	628,281	185	
		24年	520,300	177	
		25年	635,015	181	
	5ヶ年平均		585,265	182	
	26年見通し		650,000	180	
概要	<p>入荷量は昨年より増加か。ガーデンシクラメンの入荷量が最盛期を迎え、中旬あたりから4号鉢が徐々に増加の見込み。残暑の残る上旬は価格が厳しく、相場が安定するのは中旬以降と予想。 昨年10月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位長野(33.1%)、2位愛知(30.6%)、3位北海道(17.4%)となっている。</p>				

単位：鉢、円/鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
シンピジウム	実績	21年	7,369	2,060	
		22年	4,307	1,808	
		23年	8,765	2,201	
		24年	5,020	1,983	
		25年	11,167	2,090	
	5ヶ年平均		7,326	2,063	
	26年見通し		10,000	2,000	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。昨年同様、遠方からの入荷量は少ないと予想。まだこの時期は、温度帯が高いので、出荷前の水遣りと購入後の水遣りをしっかりお願いしたい。 昨年10月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位愛知（70.4%）、2位静岡（7.2%）、3位徳島（6.9%）となっている。</p>				
カランコエ	実績	21年	63,148	202	
		22年	47,561	200	
		23年	50,809	201	
		24年	53,440	194	
		25年	50,183	183	
	5ヶ年平均		53,028	196	
	26年見通し		50,000	180	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。5号～6号は、八重、一重とも安定した取引になりそう。特に6号のMIX寄せの引き合いが強い。2.5号～3.5号の小鉢は、時期的に弱めと予想。 昨年10月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位埼玉（43.1%）、2位岐阜（43.0%）、3位茨城（6.4%）となっている。</p>				
パンジー	実績	21年	943,282	45	
		22年	602,791	50	
		23年	961,088	46	
		24年	775,617	44	
		25年	868,159	44	
	5ヶ年平均		830,187	46	
	26年見通し		800,000	46	
概要	<p>入荷量は昨年より減少か。暑さの影響もあり、前半の花付き苗株は少なめ。需要と重なり相場は安定と予想。 昨年10月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位愛知（30.8%）、2位奈良（19.5%）、3位長野（12.0%）となっている。</p>				

主要農林水産物の輸出入実績 (2014年)

1 輸入実績

品名	7月						7月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	61,373	105.9	5,929,034	92.2	97	87.1	485,693	105	49,633,990	93	102	88
トマト	968	97.0	350,241	106.3	362	109.6	3,114	73	1,243,495	78	399	107
たまねぎ	27,011	119.3	967,397	110.3	36	92.4	193,938	133	9,876,792	105	51	79
にんにく	1,879	96.9	309,268	93.2	165	96.2	8,814	86	1,442,196	69	164	80
ねぎ	5,207	99.8	474,535	91.4	91	91.6	27,774	91	3,007,969	90	108	99
ブロッコリー	3,259	81.2	689,296	91.7	212	112.9	18,011	78	3,576,651	83	199	107
結球キャベツ	801	44.7	24,687	43.0	31	96.3	25,970	138	1,070,468	148	41	107
にんじん・かぶ	6,299	85.1	271,350	70.0	43	82.3	39,112	85	2,139,933	84	55	99
ごぼう	4,927	131.4	301,468	132.3	61	100.7	22,204	103	1,975,556	181	89	177
えんどう	76	54.9	28,230	55.8	371	101.7	437	34	147,041	33	336	96
アスパラガス	159	97.9	115,608	107.1	727	109.4	7,464	109	4,183,883	109	561	100
まつたけ	57	44.1	300,682	61.4	5,275	139.2	1	1	1,631	0	1,631	43
しいたけ	82	79.2	34,781	81.4	424	102.9	1,419	71	539,418	79	380	112
かぼちゃ	995	256.9	105,428	289.3	106	112.6	79,807	93	6,380,416	98	80	105
果実(生鮮・乾燥)	180,966	103.8	30,729,591	122.3	170	117.9	868,843	78	145,294,980	90	167	115
バナナ	88,534	98.3	8,564,639	109.4	97	111.3	477,485	82	42,071,930	87	88	106
パイナップル	23,253	122.3	1,762,086	147.1	76	120.3	80,187	74	5,798,039	89	72	120
レモン	5,318	91.9	846,075	108.1	159	117.7	22,188	78	4,553,300	116	205	148
オレンジ	9,263	79.9	1,258,814	98.5	136	123.2	48,191	61	7,237,974	83	150	136
グレープフルーツ	19,598	104.2	1,551,024	111.6	79	107.2	66,101	66	7,596,758	77	115	115
メロン	1,807	74.7	224,601	87.1	124	116.6	18,983	84	2,048,791	84	108	100
ぶどう	4,029	575.3	1,207,848	542.7	300	94.3	14,876	109	3,659,363	115	246	106
キウイ	11,859	164.3	4,236,505	172.8	357	105.2	32,823	86	11,973,767	95	365	110
いちご	551	101.6	539,864	103.9	980	102.3	359	39	351,907	40	979	102
切花(生鮮・乾燥)	3,308	94.0	2,648,317	96.5	801	102.7	19,252	79	16,982,577	88	882	112
鳥獣肉類	189,802	102.6	97,711,613	112.6	515	109.7	918,810	88	454,575,201	92	495	105
牛肉(くず肉含む)	46,890	67.8	26,409,436	79.6	563	117.4	235,299	75	127,444,452	82	542	109
豚肉(くず肉含む)	89,693	143.8	49,794,906	151.1	555	105.0	407,037	96	220,880,018	99	543	103
鶏肉	42,584	101.6	12,508,236	107.9	294	106.2	220,676	89	61,757,999	91	280	102
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	126,191	91.2	87,842,053	101.6	696	111.4	808,754	82	529,098,197	92	654	112
まぐろ類	14,249	89.3	13,042,395	108.8	915	121.9	101,615	84	92,856,104	94	914	112
さば・さんま・あじ・いわし	4,456	137.9	1,091,563	144.1	245	104.5	38,419	99	8,768,401	121	228	123

2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	414	163.4	394,435	169.6	953	103.8	8,733	104	3,812,106	113	437	108
うんしゅうみかん	6	274.0	8,613	309.0	1,436	112.8	265	167	162,123	180	612	108
りんご	67	89.1	32,816	112.0	490	125.7	8,019	105	3,016,453	117	376	111
なし	2	888.9	1,318	630.6	659	70.9	8	46	4,365	47	529	103
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	281,650	134.9	-	-	-	-	1,580,759	103	-	-
緑茶	258	103.2	590,481	105.7	2,289	102.4	1,576	102	3,624,411	103	2,300	101

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

関 連 指 数

年 月		消費者物価指数 <small>（全国 平成22年 = 100）</small> <small>愛知県 平成22年 = 100</small>				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	24年平均	99.7	96.1	103.3	99.0	101.4
	25年平均	100.0	96.4	101.6	99.3	102.4
	26年 4月	103.4	98.5	109.4	105.9	111.4
	5月	103.5	97.2	115.0	106.8	111.3
	6月	103.4	94.9	110.3	107.5	111.6
	7月	103.6	94.2	109.7	109.8	113.0
	愛 知 県	24年平均	99.7	98.0	105.3	99.1
25年平均		100.1	105.2	104.9	100.1	103.2
26年 4月		100.8	100.3	114.9	102.9	108.2
5月		102.9	102.3	117.2	101.1	107.9
6月		103.2	98.7	113.0	106.4	112.1
7月		103.5	98.7	111.6	107.2	111.4

年 月		農業物価指数（平成22年 = 100）				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
全 国	24年平均	101.8	111.1	99.0	102.8	100.9
	25年平均	105.5	106.3	100.9	103.3	112.6
	26年 4月	106.4	102.2	105.7	111.5	112.8
	5月	105.8	103.6	98.5	97.0	115.4
	6月	100.3	102.5	91.9	95.3	119.7
	7月	100.6	102.4	95.6	96.1	118.5

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県・愛知県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格（円）														
年 月	品目 単位	うるち米 <small>（単一品種、「コシ加」以外）</small>	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご（ふじ）
		5 kg	1 kg									100g	1kg	
24年平均		2,112	147	178	629	457	297	160	350	229	558	665	165	564
25年平均		2,084	149	182	649	442	299	163	388	231	569	695	162	567
26年	4月	1,998	201	191	643	598	308	175	404	311	600	625	172	501
	5月	2,047	154	187	562	413	322	161	466	310	503	645	149	523
	6月	1,969	135	196	707	329	337	165	333	263	499	545	153	669
	7月	1,934	147	192	699	330	343	169	365	280	535	580	152	637
	26年	7月	1,934	147	192	699	330	343	169	365	280	535	580	152
7月		1,934	147	192	699	330	343	169	365	280	535	580	152	637
年 月	品目 単位	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶（せん茶）	カーネーション	きく	バラ	豚肉（ロース）	牛肉（ロース）	まぐろ
		1 kg	100g	1 kg	100g	1 kg	100g	1 本	100g					
24年平均		582	283	352	177	211	805	534	153	168	306	225	797	398
25年平均		581	285	355	179	214	792	530	159	171	310	231	794	390
26年	4月	344	441	152	248	809	537	170	176	351	229	844	405	
	5月	363	430	159	251	801	541	164	180	332	232	851	409	
	6月	364	459	246	852	530	160	186	348	239	847	427		
	7月	690	348	446	240	847	562	169	176	335	246	860	413	
	7月	690	348	446	240	847	562	169	176	335	246	860	413	

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



いいともあいち運動って知ってる??

県内の消費者と生産者が今まで以上に**いい友**関係になる

Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

= もっと愛知県産品を食べよう (利用しよう)

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート 496
平成26年10月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6421